

(仮称)岩手国際イノベーションコンベンション
実行委員会設立総会

日 時：令和8年4月17日（金）14時00分～

場 所：エスポワールいわて 3階特別ホール

次 第

- 1 開 会
- 2 設立発起人挨拶
- 3 インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ
タン・インラン 創業者兼代表者 からのメッセージ
- 4 出席者御紹介
- 5 実行委員会の設立について
- 6 議 事
議案第1号 会則の承認について
議案第2号 役員を選任について
議案第3号 令和8年度事業計画について
議案第4号 令和8年度収支予算について
- 7 その他
- 8 閉 会

(仮称) 岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会設立総会 出席者名簿

【委員】

No.	区分	構成団体名	職名	氏名	備考
1	産 業 界	(一社) 岩手経済同友会	代表幹事	岩山 徹	設立発起人
2			代表幹事	畠山 大	代理出席 川村 公司 副代表幹事
3		岩手県商工会議所連合会	会長	谷村 邦久	設立発起人
4		岩手県商工会連合会	会長	高橋 富一	
5		岩手県中小企業団体中央会	会長	小山田 周右	
6		(一社) 岩手県工業クラブ	会長	小山田 浩之	
7		(公財) いわて産業振興センター	理事長	佐々木 淳	
8		(地独) 岩手県工業技術センター	理事長	箱石 知義	
9		(一社) 岩手イノベーションベース (IIB)	代表理事	佐々木 慈和	代理出席 谷崎 公紀
10	教 育 機 関	国立大学法人岩手大学	学長	山本 欣郎	
11		公立大学法人岩手県立大学	学長	鈴木 厚人	
12		学校法人岩手医科大学	副学長	仲 哲治	代理出席 野口 拓也 医療薬総合研究所副所長
13		(独) 国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校	校長	小林 淳哉	
14	行 政	岩手県市長会	会長	内館 茂	代理出席 古館 和好 事務局長
15		岩手県町村会	会長	鈴木 重男	御欠席
16		岩手県	知事	達増 拓也	設立発起人
17	金 融 機 関 ・ V C	(一社) 岩手県銀行協会	会長	岩山 徹	代理出席 及川 崇 常務理事兼事務局長
18		(株)岩手銀行	代表取締役頭取	岩山 徹	代理出席 岸 真英 取締役常務執行役員
19		(株)北日本銀行	取締役頭取	石塚 恭路	代理出席 浜平 忠 常務取締役
20		(株)東北銀行	取締役頭取	佐藤 健志	代理出席 田中 英明 常務執行役員支店統括部長
21		岩手県信用金庫協会	会長	浅沼 晃	代理出席 藤原 修 事務局長
22		岩手県信用保証協会	会長	菊池 哲	
23		いわぎん事業創造キャピタル(株)	代表取締役社長	新里 真士	
24		ミライドア Tohoku(株)	代表取締役社長	小川 淳	

【オブザーバー】

No.	所 属	職名	氏名	備考
1	インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ	創業者兼代表者	タン・インラン	
2	経済産業省東北経済産業局	課長	武田 省吾	
	地域経済部産業技術革新課	新規事業係長	丁子 カレン	
3	(株)日本政策金融公庫盛岡支店	支店長	早川 博明	
4	(株)商工組合中央金庫盛岡支店	支店長	永田 圭	

【アドバイザー】

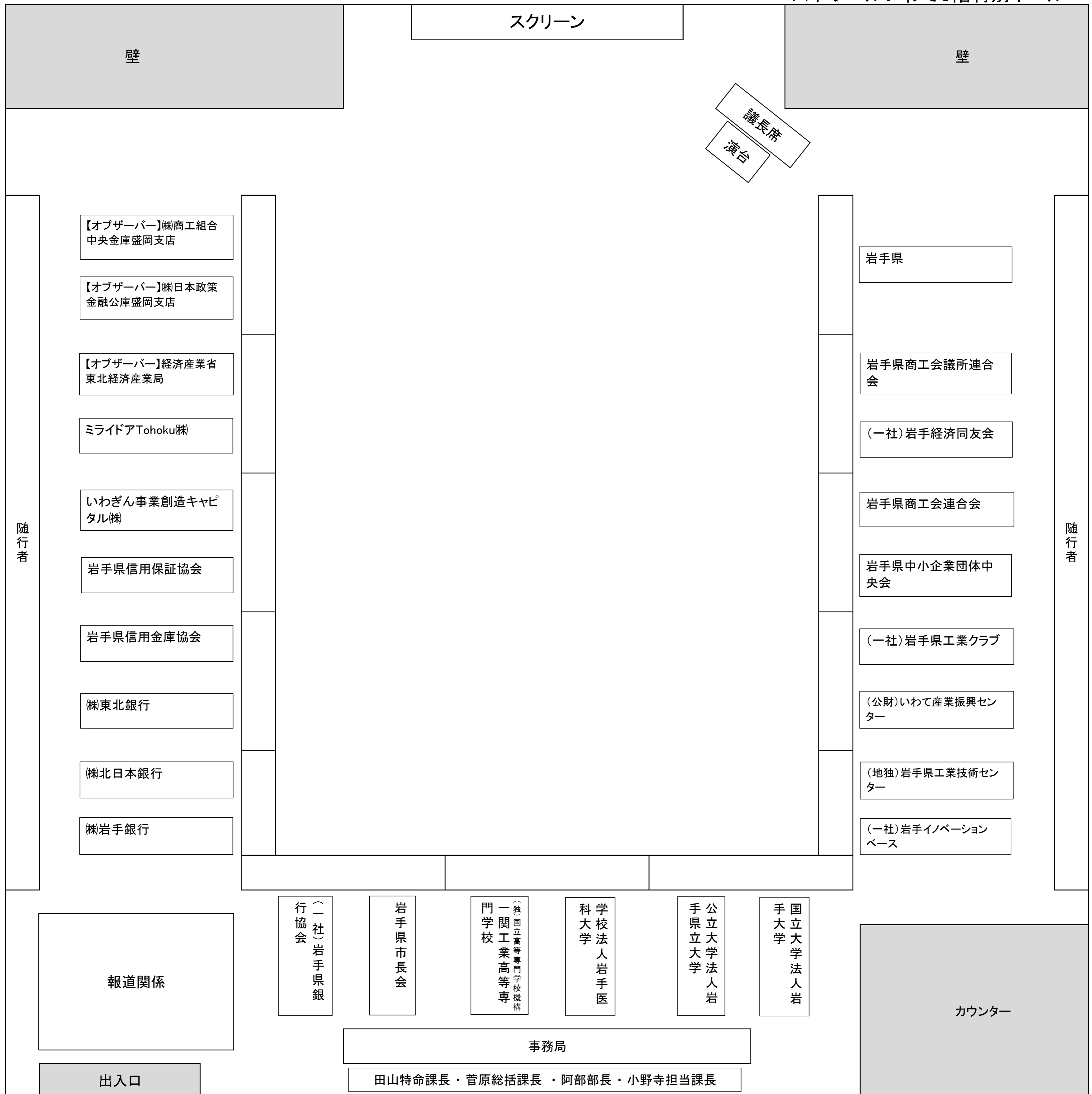
所 属	職名	氏名	備考
(株)地域経済活性化支援機構 (REVIC)	マネージング・ディレクター	田中 雅範	オンライン参加

【事務局】

所 属	職名	氏名	備考
岩手県商工労働観光部	部長	阿部 博	
岩手県商工労働観光部経営支援課	総括課長	菅原 伴和	
同	中小企業振興担当課長	小野寺 将昭	
同	特命課長	田山 敬太郎	

「(仮称)岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会設立総会」 配席図

エスポワールいわて3階特別ホール



(仮称) 岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会設立趣意書

スタートアップは、経済を支える新たな担い手であるとともに、社会課題を解決する主体としても重要であり、雇用創出にも大きな役割を果たしている。

国においては、日本にスタートアップを生み育てるエコシステムを創出するため、2022年に「スタートアップ育成5か年計画」を策定し、スタートアップの創出・育成に向けて、人材・ネットワークの構築、資金供給の強化などの取組を進めているものの、資金供給の8割が東京に集中し、スタートアップも首都圏に集中している。

岩手県においては、社会的・環境的課題の解決や新たなビジョンの実現と、持続的な経済成長をとともに目指す「インパクトスタートアップ」や、社会課題の解決に取り組み社会的インパクトを生み出しながら事業を行う「ローカル・ゼブラ」の活躍も始まっている。

このような状況の中、本県経済の活性化や社会課題の解決に向け、意欲のある起業家が本県をフィールドに活躍して成長していくためには、スタートアップの創出・育成に必要な「人的ネットワークの構築」と「資金供給の機会」を、地方である岩手県から創り出すことが必要であり、我が国の発展に地方が資する大きな動きとなる。

本県とシンガポールのベンチャーキャピタル「インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ」との連携に向けた動きが2024年から始まり、国際的な連携により本県スタートアップの創出・成長に取り組む新たな機会が生まれている。

この機会を捉え、国内外の投資家や起業家との人的ネットワークや資金提供機会を構築し、スタートアップの成長機会を創出するため、インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズと連携し、スタートアップに関する国際会議を開催する。

この会議の開催に当たり、県内の産学官金の関係機関が広く参画し、県内のスタートアップの成長とともに県内経済の活性化や社会課題の解決につなげていくため、県内の産業界、高等教育機関、金融機関・ベンチャーキャピタル、行政機関で構成する実行委員会を設立するものである。

実行委員会の設立により県内産学官金が手を携え、国境や県境を越えて起業家や投資家が岩手に集い、岩手を舞台にした交流や連携、協業で、新たなビジネスや投資を創出し、岩手から世界に羽ばたくスタートアップの育成や成長の好循環を創出する「世界に開かれたスタートアップ・エコシステム」を構築していくことを目指していくものである。

2026年4月17日

設立発起人

岩手県知事 達 増 拓 也

岩手県商工会議所連合会

会 長 谷 村 邦 久

一般社団法人岩手経済同友会

代表幹事 岩 山 徹

代表幹事 畠 山 大

(仮称) 岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会の設立について

2026年4月17日

1 名称

岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会

※略称：I I C (The Iwate International Innovation Convention)

2 構成

(1) 委員

趣旨に賛同する県内の産業界、高等教育機関、金融機関・ベンチャーキャピタル、行政の23機関・団体【別紙1】の代表者または代表者から代理として指定された者

(2) オブザーバー

インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ、東北経済産業局、政府系金融機関2行の4団体【別紙2】で構成

(3) アドバイザー

(株)地域経済活性化支援機構 (REVIC) 田中 雅範 マネージング・ディレクター
【別紙2】

3 役員

実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 監事 2名

4 事業

- (1) 岩手国際イノベーションコンベンション (I I C) の運営 (年1回)
- (2) 岩手国際イノベーションコンベンション (I I C) に関する連絡調整
- (3) その他

5 運営体制

次の体制で運営する。

(1) 会議

- ・ 委員、オブザーバー、アドバイザーを参集
- ・ I I Cの事業計画、収支予算などを決定

(2) 事務局【別紙3】

- ・ 構成機関・団体の産業界、金融機関・ベンチャーキャピタル、県の実務担当者で組織し、実行委員会の事務を行う。
- ・ 実行委員会会議の企画・調整、会議開催

- ・ I I Cの企画・調整、I I C開催、予算の執行
- ・ I I C開催に係る協賛金の呼びかけ
- ・ インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズとの調整

6 会計・運営財源

実行委員会に会計を置き、次の財源を基に実行委員会を運営する。

- (1) I I C参加者の参加費
- (2) 企業等からの協賛金
- (3) 岩手県からの負担金
- (4) その他の収入

【別紙1】（仮称）岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会構成団体

区分	構成機関・団体
産（8）	① （一社）岩手経済同友会
	② 岩手県商工会議所連合会
	③ 岩手県商工会連合会
	④ 岩手県中小企業団体中央会
	⑤ （一社）岩手県工業クラブ
	⑥ （公財）いわて産業振興センター
	⑦ （地独）岩手県工業技術センター
	⑧ （一社）岩手イノベーションベース（IIB）
学（4）	⑨ 国立大学法人岩手大学
	⑩ 公立大学法人岩手県立大学
	⑪ 学校法人岩手医科大学
	⑫ （独）国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校
官（3）	⑬ 岩手県市長会
	⑭ 岩手県町村会
	⑮ 岩手県
金（8）	⑯ （一社）岩手県銀行協会
	⑰ ㈱岩手銀行
	⑱ ㈱北日本銀行
	⑲ ㈱東北銀行
	⑳ 岩手県信用金庫協会
	㉑ 岩手県信用保証協会
	㉒ いわぎん事業創造キャピタル㈱
	㉓ ミライドア Tohoku㈱

【別紙2】オブザーバー、アドバイザー

区分	構成機関・団体
オブザーバー (4)	① インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ ② 経済産業省東北経済産業局 ③ ㈱日本政策金融公庫盛岡支店 ④ ㈱商工組合中央金庫盛岡支店
アドバイザー (1)	① ㈱地域経済活性化支援機構 (REVIC) 田中 雅範 マネージング・ディレクター

【別紙3】（仮称）岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会事務局構成団体

区分	構成機関・団体
産（5）	① （一社）岩手経済同友会
	② 岩手県商工会議所連合会
	③ 岩手県商工会連合会
	④ （公財）いわて産業振興センター
	⑤ （一社）岩手イノベーションベース（IIB）
金（5）	⑥ ㈱岩手銀行
	⑦ ㈱北日本銀行
	⑧ ㈱東北銀行
	⑨ いわぎん事業創造キャピタル㈱
	⑩ ミライドア Tohoku㈱
官（1）	⑪ 岩手県

【議案第1号】 会則の承認について

岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会会則を次のとおり定めるものとする。

岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会会則

(名称)

第1条 本会は、岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会と称する（以下「委員会」という。）。

(目的)

第2条 委員会は、岩手国際イノベーションコンベンション（以下「IIC」という。）の開催を通じ、国際的なイノベーション拠点としての「世界に開かれた岩手」の可能性を国内外に示し、スタートアップ等への投資拡大、事業拡大など成長機会の創出及び地域経済の活性化に寄与する活動等を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) IICの運営に関すること。
- (2) IICに関する連絡調整に関すること。
- (3) その他目的達成に必要なこと。

(組織)

第4条 委員会は、別表第1に掲げる構成機関、団体に属する者からなる委員をもって構成する。
2 委員は、構成機関・団体の代表者又はその代理として当該機関・団体のうちから当該機関・団体が指定した者をもって充てる。

(役員)

第5条 委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 3名
 - (3) 監事 2名
- 2 会長は、委員の中から互選により選任する。
 - 3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
 - 4 副会長及び監事は、委員の中から会長が指名し、委員会の同意を得て選任する。
 - 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
 - 6 監事は、委員会の財務を監査する。
 - 7 役員任期は、原則として選任した日からその翌年度第1回目の会議までとする。ただし、再任を妨げない。
 - 8 役員任期途中の退任等による後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会は、会長が必要と認めたとき、会議を開催する。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。ただし、委員からの委任状をもって、出席に代えることができる。

- 3 会長は、会議の議長となる。
- 4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要に応じて、委員以外の者をオブザーバーとして出席させ、意見を求めることができる。
- 6 会長は、必要に応じて、委員以外の者をアドバイザーとして出席させ、助言を求めることができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務を処理するため、岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会事務局（以下「事務局」という。）を別表第2に掲げる機関・団体に置く。

- 2 事務局に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第8条 委員会の経費は、参加費、協賛金、負担金その他の収入をもってこれに充てる。

(監査)

第9条 委員会の決算については、監事の監査を経なければならない。

(会計)

第10条 会計は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

- 2 委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(委員会解散の場合の措置)

第11条 委員会を解散する場合は、会議の議決を得なければならない。

- 2 委員会が解散した場合においては、委員会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算し、監事であった者がこれを監査する。

(補則)

第12条 この会則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、令和8年 月 日から施行する。
- 2 委員会の設立当初の事業年度は、第10条の規定にかかわらず、設立の日から令和9年3月31日までとする。
- 3 会長がやむを得ず必要と認めた経費については、委員会による予算の議決前に支出できるものとする。この場合において、当該支出した経費を収支予算案に含めるものとする。

別表第1（第4条関係） 委員会構成機関・団体

区分	構成機関・団体
産	(一社) 岩手経済同友会
	岩手県商工会議所連合会
	岩手県商工会連合会
	岩手県中小企業団体中央会
	(一社) 岩手県工業クラブ
	(公財) いわて産業振興センター
	(地独) 岩手県工業技術センター
	(一社) 岩手イノベーションベース (I I B)
学	国立大学法人岩手大学
	公立大学法人岩手県立大学
	学校法人岩手医科大学
	(独) 国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校
官	岩手県市長会
	岩手県町村会
	岩手県
金	(一社) 岩手県銀行協会
	(株)岩手銀行
	(株)北日本銀行
	(株)東北銀行
	岩手県信用金庫協会
	岩手県信用保証協会
	いわぎん事業創造キャピタル(株)
	ミライドア Tohoku(株)

別表第2（第7条関係） 事務局機関・団体

機関・団体
(一社) 岩手経済同友会
岩手県商工会議所連合会
岩手県商工会連合会
(公財) いわて産業振興センター
(一社) 岩手イノベーションベース (I I B)
(株)岩手銀行
(株)北日本銀行
(株)東北銀行
ミライドア Tohoku(株)
いわぎん事業創造キャピタル(株)
岩手県

【議案第2号】 役員の選任について

岩手イノベーションインターナショナルコンベンション実行委員会会則第5条に定める役員の選任を求める。

会 長 1名

(会長は、委員の中から互選により選任する。)

副会長 3名

(委員の中から会長が指名し、委員会の同意を得て選任する。)

監 事 2名

(委員の中から会長が指名し、委員会の同意を得て選任する。)

【参 考】

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

(1) 会 長 1名

(2) 副会長 3名

(3) 監 事 2名

2 会長は、委員の中から互選により選任する。

3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副会長及び監事は、委員の中から会長が指名し、委員会の同意を得て選任する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

6 監事は、委員会の財務を監査する。

7 役員の任期は、原則として選任した日からその翌年度第1回目の会議までとする。ただし、再任を妨げない。

8 役員の任期途中の退任等による後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

【議案第3号】令和8年度岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会事業計画（案）について

○ 令和8年度岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会事業計画（案）

1 趣旨

国内外から参加する起業家、投資家等とのネットワークを構築することにより、スタートアップの成長機会の創出を図るため、岩手県とシンガポールのベンチャーキャピタル「インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ」と連携し、スタートアップに関する国際会議を開催するもの。

2 概要

- (1) 主 催 岩手県（IIC 実行委員会）
- (2) 共 催 インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ
- (3) 開催時期 令和8年10月29日（木）～30日（金）
- (4) 会 場 盛岡グランドホテル（岩手県盛岡市愛宕下1-10）
- (5) 想定参加者数 200名
 - ① 国内外の起業家、投資家、企業、県内学生
 - ② 国内外の金融機関・ベンチャーキャピタル
 - ③ 政府関係者（国、在日シンガポール大使館、在シンガポール日本大使館等）
- (6) 参加費 10万円/人（予定）
- (7) 内容（予定）
 - ・ 基調講演（国内外起業家、投資家等）
 - ・ ファイヤーサイドチャット（座談会形式での対談）
 - ・ 分科会
 - ・ 交流レセプション

3 御支援・御協賛

本イベントを御支援・御協賛いただける企業・団体様に金額別のスポンサープランを用意し、金額に応じて広告枠や招待枠を設定する。また、県外企業に対しては企業版ふるさと納税による寄附を受け付ける。

※詳細については、事務局会議において決定。

4 スケジュール（予定）

時期	内容
4/17（金）	・ IIC 実行委員会設立総会（議題：会則、役員、事業計画、収支予算）
4月中下旬	・ 各種契約事務（会議運営 HP、参加申込システム、講師確保） ・ 海外参加者宿泊先の仮確保
5月下旬	・ 会議プログラム決定
6月上旬	・ 会議運営 HP 開設、参加申し込み受付開始
9月	・ 第2回 IIC 実行委員会
10/29（木） ～30（金）	・ 岩手国際イノベーションコンベンション
2月	・ 第3回 IIC 実行委員会

※上記の他、随時事務局会議を開催予定

IWATE IIC The Iwate International Innovation Convention

岩手国際イノベーションコンベンション

開催についてのお知らせ



IICの概要について

主催 岩手県（IIC実行委員会）

共催 インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ

開催時期 令和8年10月29日(木)～30日(金)

会場 盛岡グランドホテル（岩手県盛岡市愛宕下1-10）

想定参加者数：200名

- ① 国内外の起業家、投資家、企業
- ② 国内外の金融機関・ベンチャーキャピタル
- ③ 政府関係者（国、在日シンガポール大使館、在シンガポール日本大使館 等）

参加費 10万円/人（予定）



内容（予定）

- ・ 基調講演（国内外起業家、投資家等）
- ・ ファイヤーサイドチャット（座談会形式での対談）
- ・ 分科会
- ・ 交流レセプション

IICの趣旨

岩手県と、シンガポールのベンチャーキャピタル、
インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズとの連携に
より開催する、スタートアップに関する国際会議です。

国内外から参加する起業家、投資家等との
ネットワークの構築により、国内・県内スタートアップ
の成長機会の創出を図ります。

IICの効果について



インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズについて



Tan Yinglan (タン インラン) 氏

44歳、シンガポール人

インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ
Founding Managing Partner (創業者兼代表者)

- 2017年、インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズを設立
- 2012年から2017年まで、世界経済フォーラムのヤング・グローバル・リーダーに選出
- Forbes誌中国版「最も影響力のある華人100人(2023年)」選出のベンチャーキャピタリスト
- シンガポール政府 通商産業省
プロエンタープライズパネル パネリスト(現職)

インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズについて



INSIGNIA Insignia Ventures Partners
VENTURES
PARTNERS

インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ

- インシグニア・ベンチャーズ・サウスアジア、インシグニア・ベンチャーズ・ジャパン、インシグニア・ベンチャーズ・アカデミーで構成されるグループで、最も価値の高いテクノロジー企業の起業家を支援するというビジョンを持って2017年に設立
- 多様な業界、市場を超えた100社以上の企業に投資し支援
- 豊富な経験や独自のネットワークを持つ投資家と専門家で構成されたチームで、起業家の事業成長を支援
- 次世代のリーダー、投資家、起業家を育成する「インシグニア・ベンチャーズ・アカデミー」を運営（現在、オンラインで実施）

世界に開かれた岩手のスタートアップ・エコシステム形成



【議案第4号】 令和8年度収支予算（案）について

【収入の部】

（単位：円）

区 分	予算額	内 容
参加者負担金	20,000,000	県内外・国外200名
企業協賛金	3,000,000	県内外企業
県負担金	20,968,000	国：地域未来交付金（1/2）を活用
計	43,968,000	

【支出の部】

（単位：円）

区 分	予算額	内 容
カンファレンス	37,303,000	国内講師謝金・旅費 会場費、司会者、送迎バス 広告宣伝費 会議運営委託 海外関係委託
交流会レセプション	2,160,000	200名参加
事務局費	4,505,000	
計	43,968,000	